

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和5年06月19日(月)

事務事業		公害対策事業			担当課	環境課	担当係	環境保全係	管理番号	39221		
総合計画	大項目	4	安心とやすらぎを感じられるまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務						
	中項目	3	人と自然にやさしいまちづくり			根拠法令 個別計画等	大気汚染防止法、水質汚濁防止法、騒音規制法、振動規制法、悪臭防止法、埼玉県生活環境保全条例					
	小項目	1	自然・生活環境の保全									
	主要プロジェクト											
事業概要		本事業は、市内の大気や河川水質等の調査監視及び公害防止、公害苦情相談の対応を行っていくものである。										
目的 ※何のために		市内環境の測定、調査を行い、公害防止に活用するため。										
対象 ※誰・何を対象に		一般環境大気及び大気基準適用施設中のダイオキシソ類濃度、市内の河川等の水質、自動車交通騒音、公害発生箇所等を対象とする。										
手段 ※どのように		業務委託により調査を実施し、必要な行政指導等を行う。										
成果 ※何を求めるか		現状把握と経年変化把握のための資料活用に加え、異常値が出た場合の原因調査等への活用等、公害の防止に努める。										
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()										
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名			前年度決算額(円)			
		一般会計	4	衛生費	1	保健衛生費	7	公害対策費	公害対策事業			8,057,685
本事業の 主な業務		・河川水質の測定及び調査				・大気中のダイオキシソ類濃度測定						
		・大気・水質事故関係の対応				・大気基準適用事業所のダイオキシソ類濃度測定						
		・自動車交通騒音の監視				・						
		・騒音、振動、悪臭関係苦情の対応				・						
		・騒音、振動関係届出書の受付事務				・						
		・公害防止組織関係届出書の受付事務				・						

2. 事業費(投入コスト)

単位:円

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
年度別計画		・大気の大イオキシソ測定 ・河川水質測定 ・自動車騒音測定	・大気の大イオキシソ測定 ・河川水質測定 ・自動車騒音測定	・大気の大イオキシソ測定 ・河川水質測定 ・自動車騒音測定	・大気の大イオキシソ測定 ・河川水質測定 ・自動車騒音測定			
事業費	予算(現額)	9,513,000	9,480,000	9,499,000	9,213,000			
	決算額	7,966,718	8,057,685	0	0			
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0		
		県支出金	801,873	1,247,820	540,000	200,000		
		地方債	0	0	0	0		
		他特定財源	0	0	0	0		
一般財源	7,164,845	6,809,865	8,959,000	9,013,000				
人件費	従事職員数(人)	1.96	1.96	1.92	1.92			
	人件費相当試算※	15,213,353	15,424,332	15,737,063	15,737,063			
総事業費試算		23,180,071	23,482,017	25,236,063	24,950,063			

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名	目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
実績値の算出式									
活動指標 1	河川水質調査地点数（環境基準適用河川）	目標値	地点	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
		実績値		4.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		例年業務として予定している地点数/当年度に調査した地点数						
実績値の算出式									
活動指標 2	河川水質調査検体数（環境基準適用河川）	目標値	検体	24.00	24.00	24.00	24.00	24.00	24.00
		実績値		24.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		1地点において年6回（隔月）調査 / 当年度に調査した検体数						
実績値の算出式									
活動指標 3	大気ダイオキシン調査地点数	目標値	地点	7.00	7.00	7.00	7.00	7.00	7.00
		実績値		7.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		例年業務として予定している地点数 / 当年度に調査した地点数						
実績値の算出式									
成果指標 1	環境基準超過地点数（自動車交通騒音）	目標値	地点	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		実績値		3.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		すべての地点で環境基準を満たしていることが望ましい。 / 環境基準未達成箇所数						
実績値の算出式									
成果指標 2	環境基準超過地点数（河川BOD）	目標値	地点	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		実績値		1.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		環境基準適用河川で基準を満たすことが望ましい / 環境基準未達成箇所数						
実績値の算出式									
成果指標 3	環境基準超過地点数（大気中のダイオキシン類）	目標値	地点	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		実績値		0.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		すべての地点で環境基準を満たしていることが望ましい。 / 環境基準未達成箇所数						
実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適合成果がでているかを評価します。
 （評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	河川水質、ダイオキシン類ともに、計画した地点で適切に実施している。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	河川のBODの環境基準超過の原因は濁水期に一時的に排水に起因する汚濁成分が濃くなってしまったものと考えられる。 自動車騒音に関しては要請限度は超えていないが、引き続き注視していく。
			評価者 環境保全係長 佐藤 秀和

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 （評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	環境測定は、計画した通りに効率的に実施された。
			評価者 環境保全係長 佐藤 秀和

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和3年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	水質悪化の排出源対策を埼玉県北部環境管理事務所と連携して実施していく。
達成状況及び その効果	排出源の事業者はそれぞれ改善計画に基づく改善を実施している。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	公害対策事業	担当課	環境課	担当係	環境保全係	管理番号	39221		
<input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入) <input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続 <input type="checkbox"/> ③見直して継続 <input type="checkbox"/> ④目的達成による終了 <input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討		<input type="checkbox"/> 委託化等の検討 <input type="checkbox"/> 成果向上のための改善 <input type="checkbox"/> 効率化のための改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の縮小 <input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合		評価の内容説明 法令等により市の事務となっていることから、現状のまま継続するものとする。				評価者 環境水道部次長兼環境課長 洪澤 滝人	
上記を実施するための具体的な取組内容は？									

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和5年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	引き続き環境測定を実施していく。
令和6年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	環境測定の実施個所について検討し、必要な見直しを行っていく。

8. 評価指標グラフ

